

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会  
臨床スピリチュアルケア師 資格  
専門スピリチュアルケア師 資格

新規・更新 資格審査  
2026年7月実施

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会  
資格認定委員会

# オリエンテーションの内容

p.3 : 2026年7月資格審査の案内

p.4 : 書類提出にあたって:認定教育プログラム経由

p.5 : 資格審査の対象と申請要件

p.12: 資格審査申請書類と試験について

2026年7月実施の資格審査は以下のように行われる予定です。

2026年7月中 : 東京(新規および更新)

資格審査は大阪と東京とで交互に行われています。

2027年夏:大阪

2028年夏:東京……

# 提出書類の提出方法

## 認定教育プログラム経由で提出

スピリチュアルケア師資格審査のすべての提出書類は、認定教育プログラムを経て本学会に提出していただきます。申請者自身で直接本学会に提出することはできません。

認定教育プログラムに資格審査受験の意思を連絡の上、認定教育プログラムより求められた提出期限を確認し、申請者がすべての書類を用意して、認定教育プログラムに提出してください。認定教育プログラムから本学会への提出期限に間に合わなかった場合は、資格審査を受けられない場合があります。

申請者から認定教育プログラムへの書類提出は4月下旬ごろが提出期限になると思われます。認定教育プログラムから本学会への提出期限は、2026年5月20日(水)を予定しています。

# 資格審査の対象と申請要件

# 審査概要



2026年度スピリチュアルケア師の資格審査では、以下の3種類の審査を行います。

①書類審査…申請者および認定教育プログラムが作成した書類

②筆記試験…2026年7月中 午前

③面接試験… 同日 午後

筆記試験および面接試験の詳細は、申請受付後に本学会から送付する受験票等でご連絡します。

資格審査の結果は理事会で審議され、合否が決定されます。

合否結果は、2026年8月末までに申請者に通知します。

# 2026年7月の資格審査(新規・更新)の 対象となる方々



- ・新規：認定教育プログラム修了者 → 審査内容：  
**書類・筆記・面接**
- ・更新 → 審査内容：**書類審査のみ**

対象：資格の有効期限：2021年4月1日～2026年9月30日

(次年度からは10月1日より9月30日までの五年間の有効期限)

- ・臨床スピリチュアルケア師
- ・専門スピリチュアルケア師

スピリチュアルケア師資格審査の対象者は以下の通りです。

- ①本学会の会員であること
- ②スピリチュアルケア師倫理講習(学術大会時)を受講していること

が必要です。

## 1. 臨床スピリチュアルケア師

- (1) 日本スピリチュアルケア学会が認定するスピリチュアルケア師の認定教育プログラムにおいて、本学会が定める臨床スピリチュアルケア師の資格申請に必要な所定の教育領域の履修を修了した方。
- (2) 日本スピリチュアルケア学会が認定するスピリチュアルケア師の認定教育プログラムから、臨床スピリチュアルケア師の資格審査の受験を認められている方。

## 2. 専門スピリチュアルケア師

- (1) 日本スピリチュアルケア学会が認定するスピリチュアルケア師の認定教育プログラムにおいて、本学会が定める専門スピリチュアルケア師の資格申請に必要な所定の教育領域の履修を修了した方。
- (2) 日本スピリチュアルケア学会が認定するスピリチュアルケア師の認定教育プログラムから、専門スピリチュアルケア師の資格審査の受験を認められている方。
- (3) 日本スピリチュアルケア学会が認定する「臨床スピリチュアルケア師」の資格を所持している方。

## 更新審査の要件の概要(臨床・専門共通)

更新審査の対象者は、以下の要件を満たした方となります。

- ① 5年間で**400時間以上**のスピリチュアルケア職としての臨床活動をしていること。
- ② 学会指定の**事例報告**を5本提出 (うち3本はスーパーヴィジョンを受けていること)。
- ③ 日本スピリチュアルケア学会学術大会に、5年間に**2回以上参加**していること
- ④ 学会が主催する継続研修の**現任者研修と倫理研修**にそれぞれ**1回以上参加**していること。

※倫理研修は、倫理委員会と教育委員会が共催するスピリチュアルケア師のための研修。学術大会時の「スピリチュアルケア師倫理講習」とは異なる。

# 更新申請要件の概要(専門)

専門資格は研究・発信能力を伴う資格ですので、

専門資格の更新審査を受けるには、

**臨床資格の要件に加え、30ポイント以上の「教育・研究活動ポイント」**

が求められます。

- 上記要件を満たさない方は、「専門」資格の更新審査を受けられず、失効となります。
- 「専門」資格から「臨床」資格に切り替えての更新は可能です。

# 審査料および登録料

## 1. 審査料(受験申請の際に納入)

▪A:新規 30,000円 ▪B:更新 20,000円

## 2. 登録料(審査合格後に納入)

▪A:新規 20,000円 ▪B:更新 無し  
※暫定資格 30,000円

## 資格審査申請書類と試験について

提出書類は、学会ホームページからダウンロードし、書式を確認して、記載事項を満たしてください。

(<https://www.spiritualcare.jp/qual/app/>)

臨床・専門、新規・更新のいずれかを確認し、ダウンロードしてください。

※書類は原本を一部提出、ホチキス留めせず、クリップ等でまとめてください。

以下、書類作成について説明します。

# ★資格審査申請書類の概要

書式は学会ホームページからダウンロードできます。



	A:新規	B:更新
提出書類	①願書	①願書
	②申請者の経歴	
	③自己理解に関する論述書	
	④認定教育プログラム修了証の写し	
	⑤住民票記載事項証明書 (※記載事項は、氏名、生年月日、現住所のみ)	⑤住民票記載事項証明書 (※記載事項は、氏名、生年月日、現住所のみ)
	⑥認定教育プログラム作成の報告書	
		⑦資格認定証の写し
		⑧スピリチュアルケアの臨床活動記録
		⑨事例報告書
		⑩教育・研究活動ポイント表(専門のみ)

# 1. 提出書類について:新規・更新共通



## ① 願書(申請者作成)

- (1) 氏名(日本語、ローマ字表記)
- (2) 生年月日
- (3) 写真(6か月以内、正面、鮮明なもの)
- (4) 連絡先:住所、電話番号(携帯電話可)、E-mail
- (5) 所属する認定教育プログラム名
- (6) 審査料30,000円の振り込みにかかる書類(郵便振替納付証など)。願書貼付。

※更新の方は、審査料(20,000円)

# 1. 提出書類について:新規のみ

## ② 申請者の経歴 A4横書1枚以内

- (1) 氏名
- (2) 学歴(高等学校卒業相当以降)
- (3) 職歴(主なもの)
- (4) 研修歴(スピリチュアルケア関連を中心に)
- (5) スピリチュアルケア活動歴(主なもの)

# 1. 提出書類について:新規のみ

## ③自己理解に関する論述 新規のみ

臨床:スピリチュアルケアのスタイルについて(1,000~1,600字以内)

- 自身の他者理解、関係力、共感力の強みや課題についての理解を論述する。

専門:多職種協働を支えるスピリチュアルケアの専門性について

(1,600~2,000字以内)

- スピリチュアルケア師としての専門性の観点から論述する。

### 【書式】

PC使用の場合は、A4横書(40×40=1,600字)

手書きの場合は、400字詰め原稿用紙使用。

# 1. 提出書類について:新規のみ



## ④ 認定教育プログラム修了証の写し 新規のみ

- ・ 認定教育プログラムで、臨床スピリチュアルケア師（旧：認定資格）または専門スピリチュアルケア師（旧：専門資格）の資格申請に必要な所定の教育を修了した証明書の写し。
- ・ 臨床スピリチュアルケア師（旧：認定資格）または専門スピリチュアルケア師（旧：専門資格）のいずれの教育を修了したかが明記されているもの。

# 1. 提出書類について:新規・更新 共通



## ⑤ 住民票記載事項証明書

- 住民票記載事項証明書は、住民票とは異なる書類です。
  - ※記載事項は、氏名、生年月日、現住所のみ。
  - 世帯主、本籍地、住民票コード、マイナンバーは不要。
  - 発行後、6ヶ月以内のもの。

## 1. 提出書類について: **更新のみ**

①願書

(②～④は不要)

⑤住民票記載事項証明書

⑦スピリチュアルケア師 資格認定証の写し(臨床・専門共通)

⑧スピリチュアルケアの臨床活動歴(臨床・専門共通)

⑨事例報告書(臨床・専門共通)

学会所定の書式および説明・記入例を学会ホームページよりダウンロードし、精読のうえ、作成する  
※5本のうち3本はスーパーヴィジョンを受けていること。

※従来の「会話記録形式」に加えて、新たに「同一のケア対象者に対する継続的なかかわり」の事例報告書式が可能となった。

⑩教育・研究活動ポイント表(専門のみ)

2024年度より変更

・「教育・研究活動ポイントの詳細について」参照

## 2. 筆記試験について： 新規のみ



- (1) スピリチュアリティ、スピリチュアルケアに関する基本的知識を問うものです。
- (2) 試験時間は60分で、50問の多肢選択式です。
- (3) 以下の領域からの出題とします。

- ①「思想・宗教・文化・伝統」 ②「心理・力動・ケア」
- ③「スピリチュアリティ論、スピリチュアルケア論」
- ④「倫理」 ※事例問題として提示する場合もあります。

【青字】  
2026年度から  
の変更点

- (4) 次ページの参考文献・必須資料から出題します。

※参考文献・必須資料以外からも積極的に出題します。

## 2. 筆記試験について(新規のみ)参考文献・必須資料



### 【参考文献】

- (1) 瀧口俊子、大村哲夫、和田信編  
『共に生きるスピリチュアルケア 医療・看護から宗教まで』(2021,創元社 )
- (2) 窪寺俊之著『スピリチュアルケア学概説』(2008,三輪書店)
- (3) 高木慶子編著『グリーフケア入門 悲嘆のさなかにある人を支える』  
(2012,勁草書房)
- (4) 櫻井義秀・平藤喜久子編著『よくわかる宗教学』(2015,ミネルヴァ書房)

### 【必須資料】 学会ホームページ(<https://www.spiritualcare.jp/>)を参照

- (5) 一般社団法人日本スピリチュアルケア学会 定款
- (6) 同学会 スピリチュアルケア師 倫理綱領

### 3. 面接試験について： 新規のみ



面接試験は、資格審査申請者の資質、適性を、以下の5つの観点を中心に評価します。

- (1) 自己理解
- (2) 他者理解
- (3) 関係性と共感力
- (4) 概念化力・表現力
- (5) 臨床倫理実践力

- ・面接試験の時間は、一人当たり20分です。
- ・面接の開始時刻は、申請受付後に本学会から送付する受験票に記載してご連絡します。

**詳細は該当する規定を参照してください。**